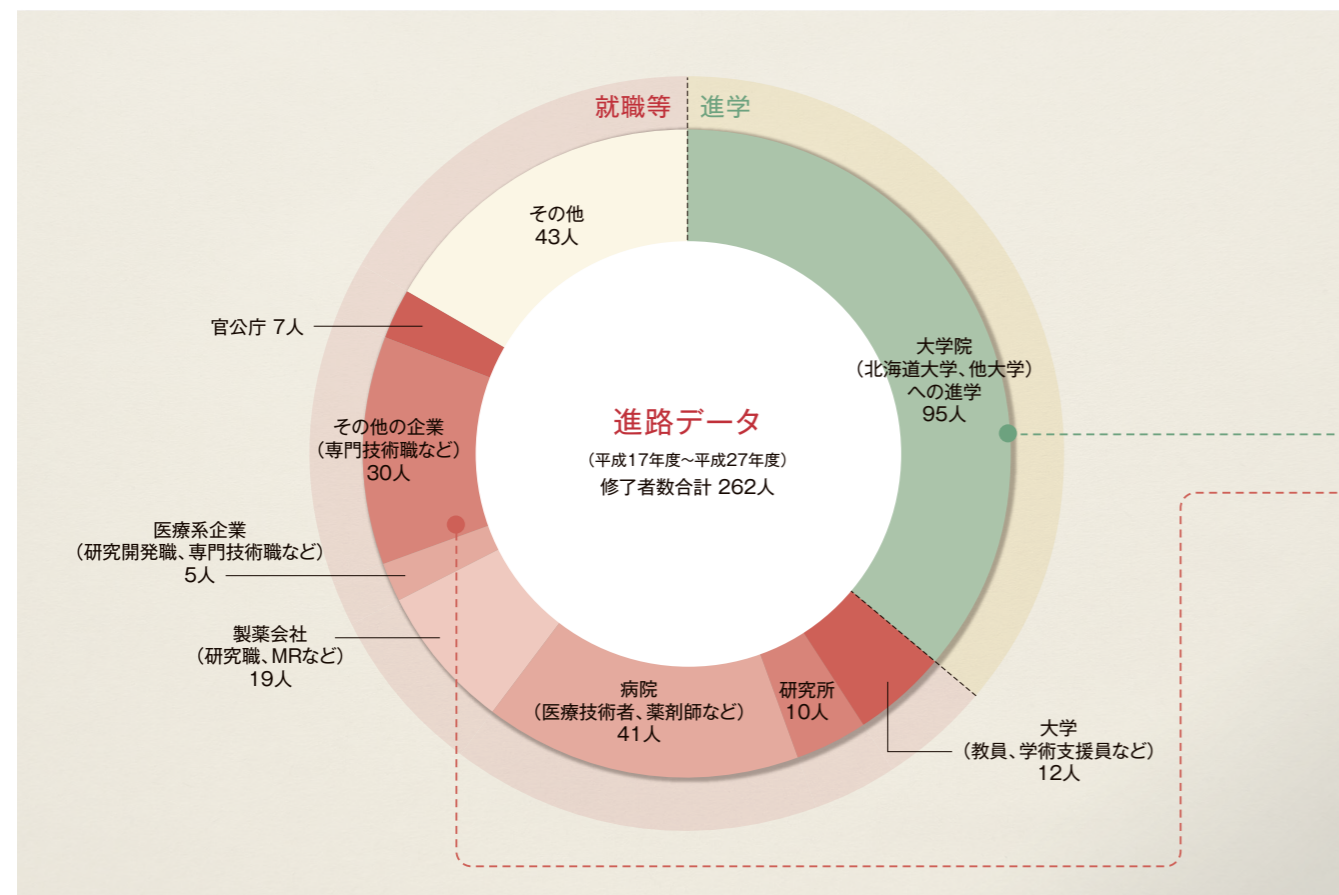
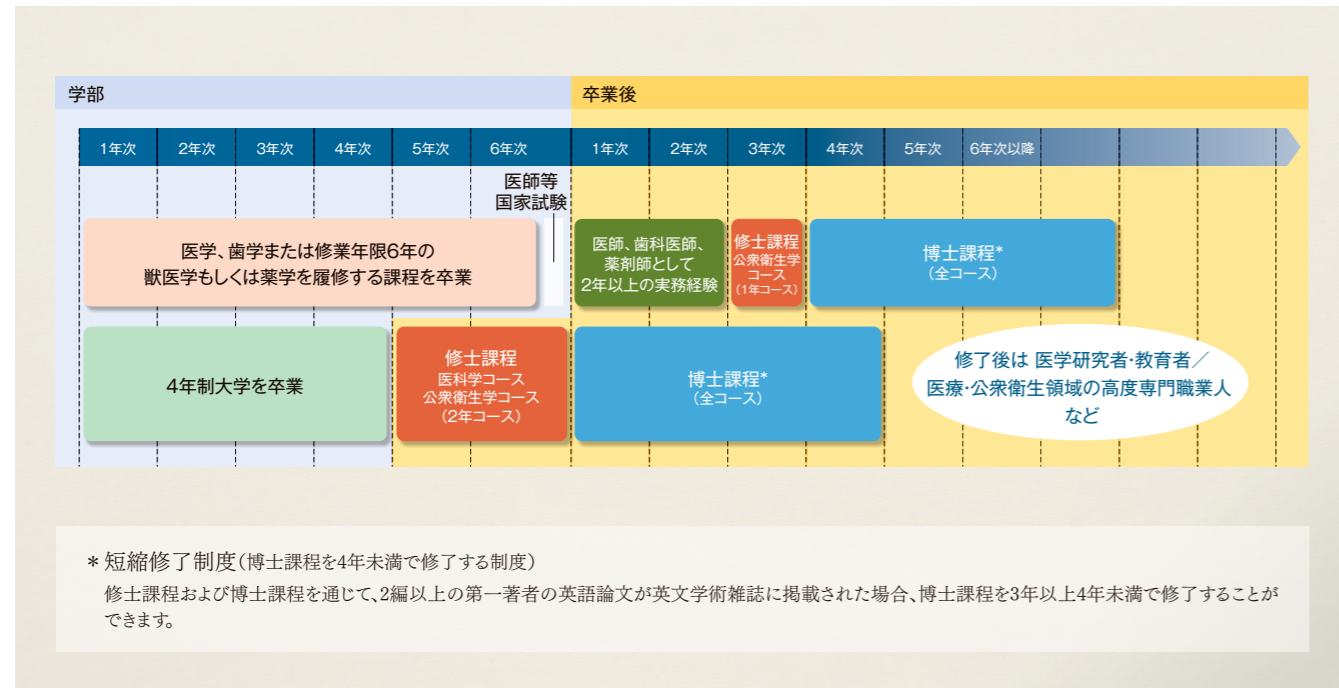


修士課程修了後の進路 ■ 進学 ■ 就職

修士課程修了後、大学院博士課程への進学あるいは就職という二つの進路を選択することができます。



進学

修士課程修了の時点では、研究・教育ともに未完成のため、大学院博士課程に進学することが望めます。引き続き本医学院博士課程に進学する場合、入学検定料および入学金は不要です。

MESSAGE 修士課程修了者からのメッセージ

研究生活を通じた専門知識の獲得を目指して

修士課程医科学コース/細胞薬理学分野(平成26年度修了) 博士課程基盤医学コース/細胞生理学教室(平成27年度入学)
[ネパール連邦民主共和国]

Prabha Nepal

私はこれまで、翻訳後修飾を介したGタンパク質共役受容体の細胞内輸送に関する研究を行い、修士論文として発表しました。さらに自身の専門知識や技術を発展させるため、北海道大学大学院医学院細胞生理学教室の博士課程に進学しました。

現在は、細胞内シグナル伝達の時空間制御機構の解明を試みています。博士課程修了後は、取得した知識や技術を基盤として研究を継続し、母国のネパールに貢献したいと考えています。

私は日本に来て5年が経ちますが、いつも研究室の皆さんが優しく助けてくれます。細胞生理学教室での研究環境はすばらしく、さらにさまざまな研究領域を牽引する講師による講義やセミナーを受講する機会も数多くあります。

このように、北海道大学大学院医学院は、多様な背景を持つ学生が博士課程の研究を遂行する機会を与えてくれる素晴らしい場所です。



就職

就職先の斡旋は、医学院全体でバックアップします。

高度専門職業人として就職する場合	就職先	職種
	・医療機関 ・企業 ・官公庁	・生命科学研究 ・医療機器開発 ・医療/保健行政 ・医薬品開発 ・食品安全開発

MESSAGE 修士課程修了者からのメッセージ

医学研究科を原点として

修士課程医科学コース/病原微生物学分野(平成27年度修了)
アサヒビール株式会社技術職

尾花 慧勇

北海道大学医学部保健学科を卒業後は、臨床検査技師として病院で働くことを考えておりましたが、より幅広い医療知識を身につけると共に実験手技を向上させることを目指し、医学研究科修士課程への進学を決意しました。

医学研究科では病原微生物学分野に籍を置き、E型肝炎ウイルスの診断法と疫学調査を主軸に研究活動を行ってまいりました。研究室には他のウイルスや細菌の研究に従事する研究者も多く、日々のディスカッションでは多様な視点からアドバイスをいただきました。

私が修士課程で身につけた最大のスキルは「論理的思考力」であると思います。本研究科に在籍する様々な分野の専門家や他大学院、および他国の研究者たちと知見を共有することで、自身の短絡的な思考回路に新たな活路が見出され、論理的かつ多面的に物事を捉える術を学びました。

医学研究科を原点として身につけた論理的思考力を新たなフィールドにも活かし、今後も邁進したいと思います。
(平成28年4月現在)

